

素材に編み込まれた未来

Theme

Intelligent Textiles

for Healthcare, Well-Being & Sports Contexts

インテリジェント・テキスタイル——医療・福祉・スポーツの未来像



Sculptural Knitted Piece - Nikki Jones 2014. Image courtesy of RCA.

Schedule

Monday 29, August - Friday 2, September | 10:00-17:00
2016年8月29日[月]—9月2日[金]

Venue

京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

Summary

テキスタイル——つまり織物とは、私たちの生活のあらゆる場面に関わる分野であり、布地によって生まれる生活のあり方について、新たな対話や機会をもたらす可能性を秘めています。とくに、インテリジェント・テキスタイルと呼ばれる領域は、医療（一般的医療から、専門性の高い医療、そして障がい者や高齢者に関わる医療）、スポーツ、極限環境、そしてこれら各分野の特殊な場面にわたって、豊かな未来像を提供するものです。インテリジェント・テキスタイルは、もともと材質的な特性を備えているもの、特定の機能を実現するために開発されたもの、テクノロジーが埋め込まれたもの（これは前述の2分野と組み合わせて利用されることもあります）と定義することができます。5日間にわたるワークショップでは、ユーザー・課題・使用場面を総合的に考えながらテキスタイルが果たす役割を追究していきます。参加者は、素材実験・シナリオ作成・各分野の専門家からの指導助言をとおして、革新的で可能性のある、新たな未来像を探ります。

・定員・
20名

・応募締め切り・
8月17日[水]

www.d-lab.kit.ac.jp

Workshop
Leaders

Anne Toomey — Head of Programme, Textiles, RCA

アン・トゥーミー [英国王立芸術学院テキスタイル専攻長]

Professor Julia Cassim, Kyoto Design Lab, Kyoto Institute of Technology
ジュリア・カセム [京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 特任教授]

Professor Sachiko Sukigara, Department of Advanced Fibro Science, KIT
鋤柄佐千子 [京都工芸繊維大学大学院先端ファイブプロ科学専攻教授]

Professor Noriaki Kuwahara, Graduate School of Science & Technology, KIT
桑原教彰 [京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授]

